

令和元年度第1回大阪府市地方独立行政法人  
大阪産業技術研究所評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和元年8月19日（月）午後15時00分～午後18時00分
- 2 場所 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 3階 大講堂
- 3 出席委員 田口委員長、生駒委員、小林委員、西村委員、平山委員
- 4 議事内容

(1) 地方独立行政法人大阪産業技術研究所の平成30事業年度の業務実績に関する自己評価及び評価結果（素案）について

- 資料1から4に基づき、平成30事業年度の業務実績に関する法人の自己評価及び知事の評価結果（素案）について法人及び大阪府から説明が行われた後、小項目評価及び大項目評価について審議が行われた。
- 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する大項目番号2及び小項目番号10を除いたすべての小項目及び大項目について、知事の評価（素案）を適当と判断した。
- 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する大項目番号2については、知事の評価（素案）「A」評価（「計画どおり」進捗している）に対して、
  - ①経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」など、競争的外部資金を新たに獲得して研究に取り組んでおり、中小企業の活性化や技術の高度化に貢献していること
  - ②「企業支援研究実施件数」及び「競争的外部資金研究実施件数」が年度計画に定めた目標値を上回り、その他幅広い項目についても計画どおり実施していること
  - ③とりわけ、トヨタなどの大企業が参加するオールジャパンの国家プロジェクトである「NEDO先進・革新蓄電池材料評価技術開発（第2期）事業」に公設試験研究機関で唯一参画しており、これは「特筆すべき進捗状況」であることから、本項目は「S」評価（「特筆すべき進捗状況」）が妥当と判断した。
- 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する小項目番号10については、知事の評価（素案）「Ⅲ」評価（「計画を順調に実施」している）に対して、

〇一気通貫支援の充実強化に向けた産学官連携の推進、電話内線化などのワンストップ化による顧客サービスの向上、企業支援のための情報収集・分析と情報発信の項目全般について積極的に実施しており、中小企業へのサービス向上に大きく貢献していることから、本項目は「Ⅳ」評価（「計画を上回って実施」している）が妥当と判断した。
- なお、平成30事業年度の業務実績に関する評価や次年度以降の法人運営において

参考とされたい意見については、以下のとおりである。

<主な意見>

【小項目番号3】

- ・海外進出後の中小企業の支援として、現地の公設試を紹介するなどの取組を行ってほしい。

【小項目番号7】

- ・共同研究を行った企業の取組成果などの状況を積極的に広報し、研究所の利用拡大に活かされたい。

【小項目番号12】

- ・利用サービスのワンストップ化や共通利用者カードの発行など、統合効果をもっと記載されたい。

【小項目番号13】

- ・法人カードの適正な利用に関する基準が必要ではないか。
- ・遠隔地の企業との共同研究にTV会議システムが使えるよう、取組を発展されたい。

【小項目番号15】

- ・統合後の法人情報システムについて、費用対効果を踏まえて整備されたい。

【小項目番号16】

- ・外部資金の獲得や事業収入の増加ではなく、中小企業支援の取組の充実に注力されたい。

(2) その他

特になし

以上